宮城県美里町
町勢要覧

美里町公認キャラクター
みさとまちこちゃん

魅力あるまちづくりを目指して

美里町長　相澤　清一

美里町は平成18年1月1日、宮城県北東部に位置する遠田郡内の旧小牛田町と旧南郷町の2町が新設合併して生まれた町です。温暖な気候で、冬季の降水量は少なく、降雪期間も比較的短いことから、住みやすい条件下にあります。また、宮城県都「仙台市」とは約40㎞の距離で、ＪＲ東北本線（仙台・小牛田駅間）では乗換えなしで45分と、通勤・通学圏内でもあります。

奥羽山系を水源とする鳴瀬川と江合川の2河川が貫流するとともに、肥沃な大崎平野が広がる美里町は、水と大地に恵まれた土地柄で、古くから農業が盛んに行われてきました。町の面積の約70％を田畑が占め、宮城県の食糧基地として、米や野菜はもちろん、果樹栽培や畜産も盛んに行われています。また、白鳥や雁が飛び交うなど、自然豊かな町です。

そんな美里町では、「人の和を大切に、住民と行政がともに力を出し、魅力ある地域づくりに努め、一人一人が輝き、「幸せ」と「豊かさ」を実感できるまちづくり」を基本理念に、「子育て環境の整備」、「教育環境の充実と人材育成」、「人口減少の抑制と高齢社会への対応」、「地域産業の発展と雇用の確保」の４つの主要課題に対し、地域の皆様に支えられながら一つ一つ着実に取組を進めています。

本誌は、たゆみない発展を目指す美里町の姿と町の魅力を広く紹介するとともに、皆様に町勢のあらましをご理解いただくために発刊したものです。本誌が、多くの方々に「美里町」について知っていただくきっかけとなり、また、地域と産業が発展する一助となっていただければ幸いです。

目次

2 町長あいさつ
4 子育て ～健やかで安心なまちづくり～
8 教育 ～生涯をとおして学び楽しむまちづくり～
12 まちづくり ～くらしやすさを実感できるまちづくり～
16 産業 ～力強い産業がいきづくまちづくり～
20 イベント
22 特産品
24 歴史・伝統・文化
26 美里町つながりマップ
28 国際交流
29 地域連携・協定
30 あゆみ
32 総合計画・総合戦略
35 議会・行政、美里町民憲章

子育て

健やかで安心なまちづくり

働きながら子育てをする世代が安心して子どもを産み育てられるよう、社会情勢の変化を捉えながら、子育て環境の充実と妊娠期からの切れ目のない保健活動、子育て相談などの取組を推進しています。

子育て支援センター事業

子育て支援センターは、町内に2か所あり、子育てアドバイザーがいます。好きなおもちゃで遊んだり、親子で季節を感じられる行事を楽しんだりしながら、気軽に子育て相談ができる窓口となっています。また、歯磨き教室や食育教室、お話し会などを通じて子育てについて学べる場にもなっています。

子育て支援センターをとおして、ママさん同士の情報交換ができ、友達もつくることができました！

待機児童ゼロを達成！

美里町では、長年の課題だった待機児童への対策として、私立保育施設の整備支援を行ってきました。その結果、０歳児から２歳児まで受入れ可能な保育施設が５施設、駅東地区に私立保育所（現在は認定こども園）が１施設開園し、定員が大幅に増加したことで令和３年４月１日に待機児童ゼロを達成しました。その後も毎年４月１日には待機児童ゼロを維持しています。

インタビュー

食と森のこども園美里　鈴木園長

令和２年に開園し、現在は幼保連携型認定こども園として100人を超える子どもたちを受け入れています。

園では、園名にあるとおり、食や動植物とのふれ合いを大切にしています。自然豊かなこの町で、子どもたちが食や動植物とふれ合いながら、様々な経験をとおして健やかに育ち、また、それぞれの個性を伸ばしながら、自ら考え、行動できるようになってもらいたいと考えています。

子ども時代の楽しい思い出は大人になってからも記憶に残るものだと感じています。子どもたちが卒園して行っても、また、つながりたいと思ってもらえる園でありたいと思っています。

子育て

放課後児童クラブ

町内に6か所の放課後児童クラブを設置し、働きながら子育てする家庭を支援しています。放課後児童クラブは、平日は下校後から午後7時まで、土曜日や小学校の長期休業日、臨時休業日は午前7時から午後7時まで開設しています。（ただし、使用料などの保護者負担あり。）また、利用希望児童数の増加を受けて、町では新たに南郷放課後児童クラブ施設を整備するとともに、現在、不動堂放課後児童クラブ施設の整備を進めています。

インタビュー

南郷放課後児童クラブ　支援員　皆川さん

南郷放課後児童クラブでは、現在、小学１年生から３年生までの児童５０人以上を受け入れています。平日は午後７時まで、土曜日は午前７時から午後７時まで子どもたちを受け入れており、働きながら子育てする世帯を支援しています。

子どもたちはここで宿題をしたり、友達と遊んだりと、自由な時間を過ごしています。月に１度お楽しみ会も開催しており、子どもたちは学年を越えて、仲良く楽しんでいます。また、農業体験や伝統文化体験をとおして地域の方々との交流も積極的に行っています。

放課後児童クラブが親御さんにとって、安心して子どもを預けられる場としてだけではなく、子どもたちが子ども同士でつながり、また大人たちともつながりながら、成長していける場であればと考えています。

母子保健事業

妊婦健康診査や乳幼児期健康診査を実施し母子の健康を守るとともに、発育段階に応じた適切な保健指導や栄養指導を行い、保護者の育児不安の軽減や乳幼児の健全な発達を図るなど、安心して子育てができる環境整備に努めています。また、美里町では、産婦健康診査費の助成なども行っています。

インタビュー

保健師　宇野さん

保健師として、乳幼児健診や育児相談などを行っています。また、悩みを抱えている保護者に対し、必要に応じて医療機関や関係機関へつなぐ橋渡しも行っています。

相談者に寄り添いながら悩みを共有化していったり、相談者によって臨機応変な対応が求められたりと対応の難しさを感じることもありますが、実際に相談者の方の負担を軽減できたときや感謝の言葉をいただいたときなど、保健師としてのやりがいを感じています。

職員になって２年が経ちますが、先輩の皆さんから少しでも多くのことを学び、相談者から頼りにされる保健師になりたいと思います。

子ども医療費助成事業

子どもの医療費の一部を助成することで、子どもの医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図っています。また、美里町では、医療費助成について、令和４年度から対象年齢を18歳まで拡充しています。

教育

生涯をとおして学び楽しむまちづくり

子どもたちが、学校生活の中で様々な活動を享受できる教育環境を整えるとともに、自主性や社会性、国際性を身に着け、自ら考え行動し、互いに支え合える人材の育成に努めています。また、住民が生涯をとおして学ぶことができるよう、ライフステージやライフスタイルにあった学習環境の整備に努めています。

情報通信技術（ICT）教育

全ての児童生徒に1台ずつタブレット端末を整備するなど、新しい時代に対応した学校教育環境の整備に努めています。

ICT教育風景

体験学習

地域住民とのふれ合いや郷土に根ざした体験活動をとおして、地域に開かれた学校づくりを進めています。

田植え体験

交通安全教室

縄ない体験

収穫体験

学力向上事業

学力向上支援員を各学校に配置することで、児童生徒の習熟度に応じた授業を実施しています。また、児童生徒一人一人の学習到達度を把握することで、個別指導につなげています。

学力向上支援員

ALT教育

幼児、児童、生徒が英語に触れる機会を創出するため、学校に外国語指導助手（ALT）を配置しています。また、小学生を対象としたイングリッシュキャンプや中高生のアメリカへの派遣も行っています。

国際共通語としての英語力の向上を図り、幼児、児童、生徒が将来、国際化社会に対応できるよう英語教育に取り組んでいます。

ALT教育

美里町では、部活動に必要な消耗品の購入や大会への参加に係る負担金、交通費等の助成を行い、活動を支援しています。また、専門的な知識や技能、豊富な経験を有する部活動指導員を配置することで、指導体制の充実を図っています。

美里町には、幼稚園が3園、小学校が6校、中学校が3校、高校が2校（小牛田農林高校と南郷高校）、特別支援学校が2校（小牛田高等学園、聴覚支援学校小牛田校）あります。

町では、生徒数の減少や学校施設の老朽化等を踏まえ、3校ある中学校を1校に再編することとし、令和7年4月の開校を目指して、駅東地区に新たな中学校の建設を進めています。

新中学校完成イメージ

美里町では、「教育環境の充実」と「人材の育成」に取り組んでいます。

新中学校整備等事業では、民間の資金、経営能力や技術能力の活用を図るとともに、行政と民間のパートナーシップのもと、効率的かつ効果的に事業を推進できるよう、取り組んでいます。

町では、新中学校が社会に開かれ、生徒が多様な学ぶ機会を得ることができるよう、住民をはじめとした多様な主体と関わりながら社会が支える学校となることを目指しています。また、生徒にとって心が落ち着き安らぐような環境であるとともに、将来にわたり誇りを持てる学校となることを目指しています。

つながる 教育 生涯学習

ひとめぼれマラソン

毎年秋に開催されるひとめぼれマラソン。全国各地からランナーが集まり、田園風景を颯爽と走り抜けます。大会にはコスプレ姿のランナーもいて、会場を盛り上げています。

グラウンド・ゴルフ大会

毎年10月に開催される美里町長杯行政区対抗グラウンド・ゴルフ大会では、総勢300人を超える参加者が団体の部、個人の部で熱戦を繰り広げます。

インタビュー

美里町体育協会　武田会長

美里町体育協会では、町のスポーツ施設の指定管理業務や町とともにひとめぼれマラソンやグラウンド・ゴルフ大会を開催するなど、スポーツの振興に取り組んでいます。少子高齢化が進む中で、今後は、子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツの推進をとおして、世代間交流にもつなげていきたいと考えています。

トレーニングセンター

ポッチャ体験風景（小牛田小学校 PTA 活動）

ポッチャとは

非接触型のスポーツで、個人戦、ペア戦、団体戦とあり、老若男女、障がいの有無にかかわらず、誰もがともに楽しみ、競い合うことができます。1988年のソウル大会からパラリンピックの正式競技として採用された、ヨーロッパ生まれのスポーツです。

郷土資料館

地域の歴史を伝える親しみやすい資料館を目指し、平成29年8月に開館しました。地域で使用されてきた農具や民具、町内の遺跡から出土した土器等の文化財を展示しています。また、ミニ企画展や体験講座・学習講座などを開催しているほか、郷土資料の収集に取り組んでいます。

郷土資料館内の展示品（農具や民具など）

学習講座

図書館

町内には小牛田図書館（近代文学館内）と南郷図書館の2つの図書館があります。図書の貸し出しだけではなく、読み聞かせなどのイベントも開催されています。また、近代文学館内には町民ギャラリーや、千葉亀雄記念文学室も併設されており、文化活動の拠点として活用されています。

絵本の読み聞かせ

小牛田図書館（近代文学館内）

南郷図書館

町民ギャラリー

まちづくり

くらしやすさを実感できるまちづくり

若者の移住定住や住民活動の活性化に努めるとともに、美しく恵まれた自然環境の中で、安全・安心で快適に生活できる「くらしやすさを実感できるまち」を目指して取組を進めています。また、高齢者が「生きがい」や「やりがい」を持って、生き生きと元気にくらせるための取組を進めています。

消防演習風景

01 防災・交通安全

消防団活動、交通安全啓発

災害から住民の生命、財産を守り、安全で安心なまちづくりを推進するため、４００人を超える消防団員が大崎地域広域行政事務組合消防本部と連携し、消火支援や水防などの消防団活動を実践しています。また、町では遠田警察署や遠田地区交通安全協会などの関係団体と協力して、交通安全の啓発に取り組んでいます。

交通安全運動

救命ボート取扱訓練

02

移住・定住

定住促進奨励事業

美里町では、町内に持家を取得し定住しようとする方や空き家を活用しようとする方に対し、補助金を交付しています。また、空き家情報について、町のホームページで発信しています。

美里町空き家BANK
空き家等情報登録制度（空き家バンク）

空き家情報はこちらから

ゆとりーと（駅東住宅）

移住者インタビュー 葛西美智子さんファミリー

震災後に家族で駅東地区に移住してきました。JR小牛田駅からも近く、通勤にとても便利です。また、自然豊かな町で、子どもたちも大らかな心で育っていけると感じています。小学校では課外活動も盛んに行われており、今後建設される新中学校もとても楽しみにしています。

私は、移住後に、町で開催された「美里女子」養成セミナーに参加し、様々な年代、職業の方と交流する機会を持つことができました。今では、セミナーをとおして知り合ったメンバーと、町のイベントに参加したり、自分たちでイベントを企画・開催したりと積極的に活動しています。また、育児サークルの立ち上げにも参加し、今は、「結」をテーマに様々な人が楽しめる、交流の場を作っていきたいと考えています。

これからもこの町で、多くの人と交流の輪を広げていきたいと思っています。

「小牛田朝市」出店

「美里女子」養成セミナー

移住者インタビュー 橋本和博さん・泰子さんご夫妻

平成30年に東京から美里町に夫婦で移住してきました。過ごしやすい気候で、大崎平野の雰囲気や美味しいお米、懐かしいヒバリの鳴き声が移住の決め手でした。都会では感じられないほど空は広く、水と空気もきれいで、ゆったりした時間を過ごすことができています。また、自然豊かな美里町では、マガンの越冬など、動植物をとおして四季を感じることができ、毎日が新鮮で楽しく過ごせています。

この町での暮らしを県外の知人に紹介したところ好評で、令和4年に冊子の形で「こごた便り」を出版し、美里町の総合案内所で販売しています。

美里町、特に駅東地区はＪＲ小牛田駅から近く、仙台で働く妻も助かっています。ヴァイオリン演奏者である妻は、音楽をとおして地域の方々と交流の輪を広げています。

この町には良いところがまだまだいっぱいあると感じています。私もその発見と発信のお手伝いをしていければと考えています。

つながるまちづくり

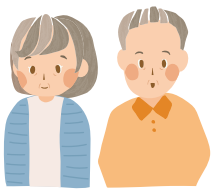
町立南郷病院

町立南郷病院は、内科、外科、小児科、眼科、整形外科の診療科目を備え、本町における地域医療の拠点として役割を担っています。

美里町では、大崎地域近隣市町および広域的医療圏との連携を強化しながら、住民が適切な医療を受けることができるよう、地域医療全体の体制維持に努めています。

デマンドタクシー

南郷地域では住民バスに替えて、デマンドタクシーを運行しています。高齢により自動運転免許証を自主返納した方などが通院や買い物等で出かける際に、その移動手段として役立っています。



インタビュー

町立南郷病院　菅原院長

令和４年から町立南郷病院の院長に就任し、外来診察や入院患者の回診、訪問診療、各種健診など幅広く取り組んでいます。

南郷病院は地域医療の提供と救急を含む一次医療としての役割を担っています。引き続き、大崎圏域の他の病院と協力、連携を図りながら、持続可能な医療体制を構築していきたいと考えています。

地域に密着し、住民から頼られる病院であり続けられるよう、これからも努めてまいります。

高齢者福祉

美里町では、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることのない、住民主体の介護予防の通いの場を充実させていくとともに、人と人とのつながりをとおして、参加者や通いの場が継続的に拡大していけるような地域づくりを推進しています。また、リハビリテーション専門職を活用した取組により、介護予防を推進しています。

いきいき百歳体操

美里町では、社会福祉法人美里町社会福祉協議会と連携し、介護予防や地域づくりを目的とした「いきいき百歳体操」を推進しています。また、地域の身近な場所で人と人とのつながりによる介護予防を実践するとともに、地域住民主体の「通いの場」を継続的に拡大していけるよう取り組んでいます。

みさと元気塾

美里町では、社会福祉法人美里町社会福祉協議会と連携し、体力測定や介護予防につながる運動や学習をとおして高齢者が地域の中でいきいきと暮らせるようにストレッチや転倒予防等の教室を開いています。

インタビュー

社会福祉法人美里町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター　高橋 さん

社会福祉法人美里町社会福祉協議会では、「一人ひとりが手をとりあって、ともにいきいきと暮らせるまち　みさと」を目指して、地域福祉の推進に取り組んでいます。

その中で私は、生活支援コーディネーターとして、地域で行われている活動や住民同士のつながりの大切さや効果について、広報紙(みさと社協だより・おげんきですか。)などで、広く周知し、さらなる活動の活性化と他地域への波及を目指しています。また、高齢者の生活課題などを把握し、対応策や解決策について、地域の様々な団体の皆さんと話し合いを重ね、①気軽に集まれる“通いの場づくり”、②地域について“話し合う場づくり”、③ちょっとした困りごとに対応できる“しくみづくり”を進めています。

何歳になっても人と人とのつながりの中で楽しみをもって生活ができるよう、そして、この町に住んで良かったと思える地域づくりを目標に、これからも頑張っていきたいと思います。

ラジオ体操（峯山）

くらしのサポーター養成講座

産　業

力強い産業がいきづくまちづくり

大崎平野の豊かな耕土が広がる美里町では、古くから農業が盛んに行われてきました。美里町では、農業分野における最新機械・設備・技術の導入や水田での畑作転換、二毛作を推進しながら、生産性の向上に取り組んでいます。また、作業の分散化、標準化による経営体質の強化、産地化、法人化を推進するとともに、人材育成やネットワークの形成を通じて、農業の魅力の向上と担い手の確保に取り組んでいます。さらには、町内産農産物等を用いた商品開発やその販路開拓を推進するとともに、起業、創業や生業などを広く含めた「しごと」を支援しています。

稲作

二つの一級河川が貫流する美里町は、肥沃な大地に恵まれ、古くから稲作が行われてきました。ササニシキやひとめぼれなど、数多くの品種が栽培されています。

麦作

美里町は県内の小麦収穫量の内約3割を占める、県内有数の産地です。また、町内産小麦「夏黄金（なつこがね）」を使用したパンは町内の学校給食でも提供されており、地産地消につながっています。

馬鈴薯畑

馬鈴薯の生産も盛んに行われています。宮城県ポテト生産者協議会では、加工用馬鈴薯の契約栽培を行うとともに、さらなる生産拡大を目指し、取り組みを進めています。

北浦梨

町の特産品である北浦梨。明治時代から１００年以上の栽培の歴史を持ちます。県内４大産地の１つに数えられ、幸水や豊水、長十郎など様々な品種が栽培されています。美里町を代表する秋の味覚となっています。

インタビュー

若手農業者　**小野寺良太** さん

東日本大震災を機に地元へ戻り、就農しました。現在は、両親や妻とともに、水稲や大豆、野菜を生産しています。農業は大変なことも多いですが、やりがいや楽しさも感じています。また、美里町は肥沃で平坦な大地が広がり、基盤整備も進んでいることから、農業に適した環境だと思います。一方で、若手農家は少ないと感じており、研修会への参加をとおして、若手農業者同士の横のつながりを作るとともに、自分たちの考えを積極的に発信していくことが大切であると感じています。

今後は、自分も美里町の中心農家となって、担い手を引っ張っていける存在になりたいと考えています。

町では、若手農業者を対象に、目指す将来像や課題を語り合うワークショップを開催しました。

畜産

美里町には県内唯一の家畜市場「みやぎ総合家畜市場」があります。家畜市場では子牛等のせりが行われるほか、生産農家らが一堂に会して家畜改良や飼育技術の成果を披露する畜産共進会も開催されています。

美里グリーンベース

令和３年10月に、国内最大級のレタス工場「美里グリーンベース」が竣工しました。播種から収穫まで環境制御装置を活用するなど、近代農業を体現する生産施設となっています。ここで生産されたレタスは、業務用として中食や外食で利用されるほか、家庭用のホールレタスとしてコンビニなどで販売され、各家庭の食卓を彩っています。

集落営農組織の法人化支援

農業従事者の高齢化や後継者不足がより深刻化する中で、集落営農組織の法人化に向けた取組を支援することで、担い手の確保と農業施策の円滑な推進を図っています。法人化した生産団体では、町内産米を海外へ輸出する取組が進められるなど、経営の活性化が図られています。

つながる 産業

起業支援

美里町では、平成29年11月に起業サポートセンター「Kiribi（キリビ）」を開所しました。働き方が多様化する現代において、これまでの仕事観にしばられないライフスタイルを選ぶ人が増えている中、起業する人たちの「しごと」が生まれる環境を整備するとともに、創業や経営に関する各種セミナー等の開催をとおして、起業者の皆さんを支援しています。

Kiribi

Kiribi 外観

JR小牛田駅から徒歩14分。名称は、旅立ちに当たり火打ち石を用いて火花を起こす「切火」が由来で、起業者の無事や事業の成功を願い命名されました。

「美里女子」養成セミナー

チャレンジする女性を育て、それを応援する女性を集めることで、女性の起業促進を図るセミナー

SNS活用セミナー

事業PRや販売促進のためのSNS活用を学ぶセミナー

Kiribi 内の様子

起業・創業に関する各種セミナーや相談会が開催されるほか、充実した環境でしごとができるよう、利用者専用スペースの貸し出し（有料）も行っています。

インタビュー

起業支援の株式会社スリーデイズ　伊藤代表

私は、美里町起業サポートセンター「Kiribi」で毎月1回、起業・創業に向けた相談を行っています。起業に向けて、何度でも利用していただけるのが特徴で、年間の相談件数は50件を超えます。

5年間で10人以上の方が起業され、相談者からは、「この相談があることが、安心につながっている」との声をいただいています。継続した起業支援を行うことは、「誰でもチャレンジできる」地域の形成につながっていると感じています。

多様な生き方が求められる現代で、今後も起業支援を続けていきたいと考えています。

商品開発を支援

農業が盛んな美里町では、数多くの農作物が栽培されています。町では、この豊富な食材をいかし、商品開発や販路開拓に取り組む事業者を支援しています。また、事業者が町内農産物等を用いた商品開発に取り組む際に、その経費の一部を補助しています。

ごはんのおとも

JA 新みやぎが販売する、地元野菜を使用した商品。醤油麹・ネギラー油・ネギキムチ味があり、ごはんがどんどん進みます。

美里ノ赤紫蘇エール

マジコが販売する、町内産の赤紫蘇をふんだんに使用した地ビール。色鮮やかな赤色のビールは、見た目だけでなく、味も最高です。

販売促進支援

美里町では、販売促進に関する研修会を開催するとともに、(一社) 美里町物産観光協会と連携し、各種販売会やイベントにおいて、事業者の販売促進活動を支援しています。

開発商品の一部は、
花野果市場
(農産物直売所) や
美里町総合案内所
(ＪＲ小牛田駅構内) でも
販売されています。
ぜひ、お立ち寄りください。

農産物直売所「花野果市場」

美里町総合案内所

催事開催支援による「にぎわい」創出

美里町では、地域経済の活性化を目的に、地域資源をいかした催事開催を支援しています。町内の様々な場所で個性豊かなイベントが開催され、地域のにぎわい創出につながっています。

ミサトミライ

食と音楽とハンドメイドでつながるイベント

DoTaBaTa ライトマルシェ

でんえん土田畑村で開かれる「聴く・食べる・体験する」をテーマとしたイベント

イベント

春夏秋冬、世代を超えたまちづくり

四季をとおして多彩なイベントが開催されています。イベントをとおして、人と人とがつながり、強い絆となって地域を盛り上げます。

春

4月 April

5月～10月 May October

6月 June

12月 December

ここた桜まつり

小牛田公園内には約100本の桜（ソメイヨシノ）が植えられており、桜の花が見頃を迎える4月には、桜まつりが開催され、踊りや出店で賑わいます。また、まつり期間中は、夜間に桜がライトアップされ、夜桜を楽しむこともできます。

- **期　間**／4月中旬～下旬
- **場　所**／小牛田公園
- **交　通**／JR小牛田駅から徒歩10分程度
- **駐車場**／あり（若干数）

小牛田朝市

新鮮な野菜や農産加工品、花や植木など様々な商品が販売されます。

8月には盆市が、12月には歳の市が開催されます。

- **期　間**／5月から10月までの毎週日曜日。8月のお盆の時期には「盆市」が、12月下旬には「歳の市」がそれぞれ開催されます。
  ※天候により中止する場合があります。
- **時　間**／朝6時～
- **場　所**／小牛田駅前公園
- **交　通**／JR小牛田駅から徒歩2分程度
- **駐車場**／あり

活き生き田園フェスティバル

世界一の大俵が会場内を練り歩きます。五穀豊穣を祈願し始まったこのお祭りは、長ぐつ飛ばし大会など、農業の町ならではのユニークなイベントが盛りだくさんです。夜には花火が打ち上げられ、会場の近くから打ち上げられる花火は迫力満点です。

- **期　日**／6月上旬
- **場　所**／野外活動施設 ほか
- **交　通**／JR鹿島台駅から車で10分程度
- **駐車場**／あり

夏

えきフェスMISATO

線路を一部開放し電車を間近で見られる車両展示や線路点検用車両（レールスター）の試乗など、駅ならではのお祭りとなっています。また、会場では、県内外の高校生による熱いダンスコンテストが開催されます。

●期　日／8月上旬
●場　所／小牛田駅周辺
●交　通／JR小牛田駅直結
●駐車場／あり

みさと花火

夏の風物詩である色鮮やかな花火が美里の夜空を彩ります。打ち上げ前には花火を盛り上げるイベントも開催されます。

●期　日／8月中旬
●場　所／牛飼水辺公園
●交　通／JR小牛田駅から車で10分、徒歩30分程度
●駐車場／あり

8月 August

11月 November

1月 January

秋

ひとめぼれマラソン

田園地帯を駆け抜けるマラソン大会。5kmや10kmコースのほか、親子ペア2kmのコースなどもあります。参加者には豚汁と美里町産の新米おにぎりが振る舞われるほか、豪華景品が当たる抽選会も開催されます。特産品の販売などもあり、マラソン以外でも楽しめます。

●期　日／11月3日（文化の日）
●場　所／トレーニングセンター周辺特設コース
●交　通／JR小牛田駅から車で8分程度
●駐車場／あり

冬

ごこたどんと祭

宮城県北部で行われるどんと祭としては最大規模を誇ります。裸参りや和太鼓演奏も奉納されます。毎年多くの人でにぎわう会場にはたくさんの出店も並び、寒さを和らげてくれます。

特産品

美里町自慢の豊穣の大地からの贈り物

豊かな耕土が広がる美里町では、お米や梨など多くの農産物が生産されています。醤油や味噌、日本酒など加工品も数多くあり、食に富んだ町でもあります。また、「すっぽこ汁」は、昔から受け継がれる、美里町を代表する郷土料理となっています。

イチゴ

皆さんに喜んでいただけるよう、手間暇をかけて生産しています。朝取りイチゴは町の農産物直売所「花野果市場」で販売されます。

みさとの逸品

北浦梨・アッピー

明治時代から栽培される北浦梨。毎年秋になると、国道１０８号線沿いに梨を販売する露店が立ち並び、県内外からみずみずしい梨を求める買い物客で賑わい、秋の風物詩となっています。また、全国的にも珍しい、りんごのような梨「アッピー」も販売されています。

米

ササニシキやひとめぼれなどの銘柄米が生産されています。また、餅など、米加工品も多く作られています。

ばら・ばら加工品

ばらは美里町の町花でもあり、町内で栽培されるばらは、これまで数々の賞に輝いています。また、その花びらを使用した染液で染め上げた（ばら染めした）シルク製品は、町の工芸品となっています。

大豆加工品（みそ・しょうゆ等）

大豆の生産が盛んな美里町では、味噌や醤油といった大豆加工品が古くから作られてきました。伝統的な製法で作られる味噌・醤油は、風味豊かな味わいがあります。また、その他にも多くの大豆加工品があります。

地酒

美里町を代表する地酒「黄金澤」。昔ながらの伝統的製法「山廃仕込み」で作られるお酒は、旨味とこくがあり、あきのこない味わいが自慢です。全国新酒鑑評会では、これまでに何度も金賞を受賞しています。

すっぽこ汁

美里町周辺に明治以前から伝わる精進料理。季節の野菜と油揚げ、こんにゃくなどの温麺（うーめん）を加えてあんかけにしたものです。元々は仏事の本膳の後にお手伝いの方々に振る舞ったものと言われ、昔懐かしいおふくろの味です。秋から冬にかけて、期間限定メニューとして町内の飲食店でも提供されます。

ハチミツ

日本ミツバチが、江合川沿いに咲く四季折々の花々から採取した蜜を非加熱で瓶詰めにしています。希少価値が高く、濃厚なコクと甘みの中に僅かな酸味を感じさせる商品です。

山の神まんじゅう

安産の神様で知られる美里町の山神社にちなんだ銘菓。古くから参詣の人々に愛されてきました。国産大豆を使用し、甘さ控えめの粒あんで仕上げた薄皮まんじゅうです。

インタビュー

（一社）美里町物産観光協会　**渡邉会長**

美味しい　楽しい　美里町

（一社）美里町物産観光協会では、各種イベントの開催や町内産品の販売促進をとおして、町のPRや活性化に取り組んでいます。

町面積の約７割を農地が占める美里町には、様々な農産物や農産加工品が数多くあります。今後も、若い人のアイデアを取り入れながら、地域一丸となって、町を盛り上げていきます！

皆さん、ぜひ一度、美里町へ来て、見て、そして、美味しい食材を味わってください！

ハム・ソーセージ

宮城県産を中心に東北産のみの豚肉を原料に使用した手作りハム・ソーセージ。特性漬け込み液でじっくり熟成させ、桜チップで燻製し、丁寧に仕上げられています。自然の旨味がぎっしり詰まっています。

美里町 ふるさと納税

美里町では、様々なサイトからふるさと納税を受け付けています。寄附金は寄付者の意向に沿って、町の事業を実施する際に役立てています。返礼品も数多く取り揃えていますので、左記のＱＲコードからお申込みください。

歴史・伝統・文化

先人により育まれてきた歴史と文化

鳴瀬川と江合川が潤す豊かな大地が広がる美里町。この地では、古くは縄文時代から人々の生活が営まれてきました。国指定史跡山前遺跡や町指定史跡素山貝塚の出土品からは、当時の様子をうかがうことができます。また、仙台藩の宿老として藩政の要職を務めた後藤家や、明治期以後に地主として私財を投じて地域発展に寄与した野田家などによって、美里町の基礎は築き上げられてきました。

多くの文化財や祭礼、伝統芸能など、連綿と受け継がれてきた歴史と文化は、今と昔をつなぐ貴重な架け橋となっています。

南郷の篤志家 野田家

現在、広大な水田を抱える南郷地域では、明治期以後、急速に成長した豪農が土地を集積し、地主として台頭しはじめます。中でも野田家は、道路や橋の整備、病院や学校の建設など、地元への投資を惜しまず、地域の発展に大きく貢献しました。

関根神楽

不動堂神楽

町指定無形民俗文化財「関根神楽」「不動堂神楽」

幕末から明治にかけて栗駒や一迫から南部神楽が伝わり、地域の人々が精進を重ねて「関根神楽」「不動堂神楽」として成立しました。地域の祭りには、太鼓や鉦の音とともに勇壮な舞の披露が欠かせず、今なお人々の心に息づいています。

町指定天然記念物 十王山の槻の木

樹齢750年といわれ、古来、旅人の目印として重宝されたと伝わっています。槻（ツキ）はケヤキの古名であり、同種の樹木です。幹や根の表面は綺麗であり、樹勢が非常に良く、枝の張り具合も見事です。しっかりと大地に根を下ろした根張り、幹の力強さ、枝振り、樹皮の風合い等は、今なお見る者を圧倒させる威容を保っています。

国指定史跡 山前遺跡

縄文時代から中世にかけての複合遺跡です。集落を守る防御的性格を持つ古墳時代の大溝が高く評価され、昭和51年に国史跡に指定されました。現在は史跡公園として、歴史学習に活用されるとともに、地域の方々に親しまれています。

町指定史跡 素山貝塚

海の貝を出土する縄文時代早期の貝塚。旧東北帝国大学（現東北大学）によって県内では比較的早い昭和13年に発掘調査が行われ、出土遺物が標識資料として広く縄文研究に用いられてきました。また、縄文海進の証拠としても知られ、学術的に高く評価されています。貴重な遺跡であることから平成26年8月1日に町史跡に指定されました。

保土塚古墳

古墳時代中期の古墳で、直径50mの円墳状をしており、町内でも最大級の大きさです。北東300m程にある京銭塚古墳をはじめ周辺には大小の古墳が密集しており、鳴瀬川流域における古墳の集積地帯として知られています。

山神社

木花佐久夜比賣命、大山咋命、天照大御神、誉田別命を祭神とし、子授け・安産の神様として古くから東北地方で信仰されています。特に安産祈願の際にいただく神枕（お守り）のならわしは、この小牛田山神社が発祥です。平成29年に遷座100年を迎えました。

神寺松景院の不動明王

東北三十六不動尊に数えられている真言宗のお寺です。本尊である「不動明王」のほか、開基以来の秘仏「大聖歓喜天」、町内最古の仏像といわれる寺宝「薬師瑠璃光如来像」などを祀り、古くからの密教と神仏混淆の伝統を今も保っています。

千葉亀雄記念文学室

明治から昭和初期にかけて、社会的にも文化的にも大きく揺れ動いた時代に、ジャーナリスト、文芸評論家として生きた千葉亀雄は、鋭い時代感覚で常に未来を意識し、ペンを休ませることなく時代を写し出しました。近代文学館内に併設される千葉亀雄記念文学室には、そんな彼を偲ぶ、愛用品の数々や記念写真など約160点を展示しています。

鶴頭城跡

西舘とも不動堂要害ともいわれる、中世から近世にわたる城跡。藩政期には伊達二十一要害の一つとして重要な拠点とされていました。元和6年（1620年）、後に仙台藩の宿老を務める後藤家が移封され、今に至る地域の礎が築かれました。現在は、鶴頭公園として整備され、桜の名所となっています。

町指定有形文化財「後藤の朱槍」

不動堂地区を藩政時代に治めた後藤家に、代々引き継がれてきた2本の朱槍があります。織田信長から賜ったという伝説とともに、鑑定により判明した室町時代という制作年代、朱漆で塗られた柄が残ることなどが高く評価され、平成28年7月1日に美里町では初となる有形文化財に指定されました。

世界農業遺産

大崎耕土 世界農業遺産
OSAKI KOUDO
GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS

平成29年12月12日、「世界農業遺産（GIAHS：ジアス）」の審査結果が、FAO（国連食糧農業機関）より公表され、大崎地域が申請した「大崎耕土の巧みな水管理による水田農業システム」が世界農業遺産に認定されました。大崎地域の世界農業遺産認定は、東北で初の認定となります。

江合川、鳴瀬川の流域に広がる水田農業地帯として発展してきた大崎地域は、「やませ」による冷害や地形的要因による洪水、渇水が頻発する三重苦とも言える厳しい自然環境の中、中世以降、取水堰や隧道・潜穴、水路、ため池などの水利施設を流域全体に築くとともに、相互扶助組織「契約講」を基盤とする水管理体制を整えることで、「巧みな水管理」を柱とした水田農業が展開され、「大崎耕土」と称される豊饒の大地を形成してきました。また、農業が育んできた豊かな農文化や水田や水路、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根」のつながりが豊かな湿地生態系を育み、多様な動植物が存在する独特の農村景観を形成しています。この農業や農業が育む文化、生物多様性、美しく機能的な農村景観が一体となった農業システムが、未来に残すべき「生きた遺産」として世界農業遺産に認定されました。

美里町 つながりマップ

アクセス

⑤ JR 小牛田駅

JR 小牛田駅は、宮城県内では仙台駅に次いで 2 番目に多くの路線が乗り入れる駅。そのため電車でのアクセスが非常にスムーズです。また、2 本の国道も通っているため、近隣の地方都市への通勤・通学圏内として定住する人も多く、住み良い状況下にあります。JR 小牛田駅には、町内や隣の大崎市を結ぶ住民バスも乗り入れています。

交通アクセス

鉄道

- JR 東北本線 → 小牛田駅下車（仙台駅から 45 分）
- 東北新幹線 → 古川駅から陸羽東線経由・小牛田駅下車（古川駅から 12 分）

自動車

- 東北自動車道 → 古川 I C から 13 km
- 三陸自動車道 → 松島北 I C から 20 km

食とつながる

⑦ 農産物直売所「花野果市場」

南郷地域の直売所。地域の方々が提供する地場産の野菜や漬物をはじめ、もち加工品やお惣菜なども取り揃えられており、平日でも多くの人が買い物に訪れます。また、農家レストランも併設されており、家庭料理や郷土料理を楽しむこともできます。

北浦梨

北浦地区は、県内を代表する梨の生産地。約 30 軒の農家が栽培しており、幸水や豊水など品種も豊富です。毎年 8 月下旬頃から収穫が始まると、秋を迎える 9 月には道沿いに多くの直売店が立ち並び、町内外から梨を買い求める人が行列をつくります。

美里で楽しむ

サイクリングロード

鳴瀬川の堤防沿いに、なだらかな道のりが続く全長 15.2km のサイクリングロード。平野が続く美里ならではのアクティビティとも言え、見晴らしが良い場所で風を切り、気分爽快な時間を楽しむことができます。

⑧ でんえん土田畑村

ゆったりとした自然に囲まれながら、木の優しい温もりや香りを楽しめる宿泊施設。多彩なレイアウトのログハウスは、ファミリーでの旅行やスポーツチームの合宿、会社の研修など幅広い用途で利用され、敷地内では BBQ を楽しむこともできます。また、ランチに利用できるカフェも併設されています。

⑨ スイミングセンター

子どもから大人まで手頃な価格で利用することができる施設で、25m プールや多目的プール、幼児プールがあります。また、スイミングスクールも開かれています。

拡大図 A

拡大図 B

自然とつながる

田園風景

町内面積の約 7 割を水田や畑が占め、自然と調和する実り豊かな美里町。町の基幹産業を支える風景で、海も山もないことが特徴のひとつです。大空に映る朝日や夕日のまばゆい光が、自然ならではの幻想的な世界を演出してくれます。

4 小牛田公園

素山公園とも呼ばれ、春になると敷地内に植えられたソメイヨシノが一斉に咲き誇ります。そのため桜の名所としても知られており、4 月の「桜祭り」は町の恒例イベントとなっています。また、公園内には SL 展示や木製遊具等もあり、休日は家族連れで賑わいます。

文化とつながる

2 文化会館

昭和 54 年（1979 年）に開館した歴史ある会館。831 の座席数を誇るホールでは学生の定期演奏会や芸術鑑賞会、地元の団体による発表会などが行われています。また、クラシックや歌謡コンサートも行われています。

3 近代文学館（小牛田図書館）

平成 2 年（1990 年）開館。1 階は約 12 万点の資料を所蔵する町の図書館で、2 階には美術作品の展示や学習会に利用できる町民ギャラリーや、視聴覚会議室を構えます。また、外観に姿を見せるのは、郷土ゆかりのジャーナリストであり文筆家の千葉亀雄。2 階の記念文学室では、遺品約 160 点が常時展示されています。

人とつながる

1 起業サポートセンター「Kiribi」

町が運営するシェアオフィスで、実業家やフリーランスの方々が利用しています。また、コンサルタントの来訪や交流会なども行われ、ビジネスサポートも充実しています。

6 小牛田駅前公園（小牛田朝市）

JR 小牛田駅にほど近い小牛田駅前公園では、毎週日曜日（5 月～10 月）に恒例行事「小牛田朝市」が行われます。早朝 6 時から限定的に開かれている市場で、野菜や果物、漬物、パン、発酵食品など様々な商品が並び、町内のみならず町外からも出店者が集まります。その歴史は半世紀以上とも言われ、地域に根付いた行事となっています。

美里町公認キャラクター みさとまちこちゃん

【プロフィール】
五穀豊穣をつかさどる大地の神様が、平成 18 年 1 月 1 日に美里町の誕生を祝い生み育んだ豊作成就の申し子です。田んぼや畑が大好きでバラの妖精ちゃんといつも一緒に遊んでいます。「みさとまちこちゃん」が現れる場所には豊かな実りがもたらされ、ふるさと「美里町」の人々を豊かさと幸せに導くといわれています。バラの妖精ちゃんは、抱きしめるとバラの甘い香りがして、人々を優しい幸せな気持ちにしてくれます。

編集：美里町地域おこし協力隊

国際交流

国際化に対応できるひとづくり・まちづくり

美里町では、平成19年10月にアメリカ合衆国ミネソタ州のウィノナ市と姉妹都市を締結しています。国際化が進む現代において、国際社会に対応できる人材の育成と外国人にも住みやすいまちづくりを目指しています。

中高生アメリカ派遣事業

ウィノナ訪町団受入事業

ウィノナ訪町団受入事業・中高生アメリカ派遣事業

美里町では美里町国際交流協会とともに、ウィノナ市との中学生、高校生の相互訪問を実施し、ホームステイや授業体験を行うなどウィノナ市との絆を深めています。JR小牛田駅の駅東ロータリーには、ウィノナ市ウィンダム公園にあるウィノナ姫の像と同じ像が設置されており、相互の関係の深さが感じ取れます。

JR小牛田駅駅東のウィノナ姫の像

国際交流オータムフェスタ

美里町国際交流フェスタ実行委員会では、平成15年度から国際交流オータムフェスタを実施しています。外国の料理を食べながら外国人の方々と交流し、町民の国際理解を深めるとともに、美里町の国際化を推進しています。

国際交流オータムフェスタ

ふれあい事業(稲刈り・餅つき体験)

インタビュー

美里町　国際交流協会　鎌田会長

美里町国際交流協会は、国際性豊かな人材育成、異文化への相互理解と幅広い交流活動の定着を目指し、平成９年に設立されました。

現在は、200人を超える会員とともに、中高生を中心としたウィノナ市との相互訪問、食を通した交流会（オータムフェスタ）、県内の留学生等を対象とした稲刈りや餅つきなどの日本の文化体験（ふれあい事業）といった交流事業を実施しています。

若い人には、ぜひ、海外に出て生の交流をとおして多くの刺激を受けてもらいたいです。また、そこから、自国を見直すきっかけと、今後の活動につなげていってもらえたら幸いです。

地域連携・協定

連携・協力し助け合えるまちづくり

美里町では、友好都市である福島県会津美里町を始め、東松島市、山形県最上町、東京都足立区や兵庫県富岡市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結するとともに、災害時の物資供給等について民間事業者と協定を締結するなど、万が一の緊急事態に備えています。また、福島県会津美里町や東京都足立区とイベント等を通じた交流も続けています。

東京都足立区民祭り

協定締結式
（山形県最上町との「災害時相互応援協定調印式」）

協定締結式
（宮城三菱自動車販売株式会社との
「災害時等における電動車両及び給電装置の
貸与に関する協力協定」）

スポーツ

美里町は、平成28年３月に株式会社楽天野球団（東北楽天ゴールデンイーグルス）とパートナー協定を締結しています。また、令和４年４月には本町を含む県内全市町村がベガルタ仙台のホームタウンとなりました。美里町では、チームとの交流をとおして、スポーツの振興と青少年の健全な育成に取り組んでいます。

友好都市「福島県会津美里町」との交流
（あやめ祭り出店）

楽天イーグルス野球教室（2018年）

ベガルタ選手によるサッカー教室
（2022年）

この他にも、美里町では、産学官金労言との連携による、民間活力を最大限に生かした取組を推進しています。

美里町誕生から現在まで

明治22年（1889年）の市町村制施行から、昭和29年（1954年）の小牛田町、南郷町の誕生、そして、平成18年（2006年）には、今の美里町が誕生しました。
ここでは、美里町誕生からの歴史を紹介します。

平成18年	1月	小牛田町と南郷町が合併し、美里町が誕生
	3月	小牛田駅東西自由通路が開通
	4月	青生コミュニティセンターが完成
	6月	美里町が「非核・平和都市宣言」
	7月	町章、町花（ばら）、町木（はなみずき）が決定
	9月	南郷図書館が開館
平成19年	6月	駅東地域交流センターが完成
	10月	アメリカ合衆国ミネソタ州ウィノナ市と姉妹都市を締結
平成20年	3月	練牛小学校が閉校
	3月	新浄水場が竣工
	6月	岩手・宮城内陸地震が発生（町内震度5強）
平成21年	4月	下二郷コミュニティセンターが完成
	4月	駅東口にウィノナ姫の像が完成
平成22年	4月	ふどうどう幼稚園が開園
	12月	不動堂中学校、南郷中学校に武道場が完成
平成23年	3月	東日本大震災が発生（町内震度6強）
	10月	美里町産業復興祭を開催
平成24年	4月	中二郷中央区会コミュニティセンターが完成
	9月	平和を考えるつどいin美里を開催
平成25年	1月	ごごた幼稚園が開園

「美里町」誕生

美里町公認キャラクター「みさとまちこちゃん」誕生

東日本大震災

平成26年	4月	小島行政区内にモニタリングポストを設置
	1月	南郷庁舎に美里町納付推進センターを開所
	5月	「第1回食ってみらin美里」を開催
	10月	宮城大学の学生による「まちづくりアイデアコンテストin美里」を開催
平成27年	4月	南郷地域でデマンドタクシーの運行開始
	9月	平成27年9月関東・東北豪雨により出来川の越流堤が決壊
平成28年	1月	美里町合併10周年記念式典を開催
	1月	美里町公認キャラクター「みさとまちこちゃん」誕生
	7月	「美里町学校再編ビジョン」を策定
平成29年	8月	郷土資料館が開館
	9月	山神社遷座百年記念大祭が開催
	11月	起業サポートセンター「Kiribi」が開所
	12月	美里町を含む「大崎耕土」が世界農業遺産に認定
平成30年	7月	樹齢750年を超える「十王山の槻ノ木」を町の天然記念物に指定
平成31年	3月	美里町内郵便局・古川郵便局と包括連携協定を締結
令和元年	10月	令和元年東日本台風（令和元年台風19号）が発生
令和2年	8月	「リゾートみのり」の最終運行・引退
	12月	第1回小牛田駅前イルミネーションが開催
令和3年	2月	2021年福島県沖地震が発生（町内震度5強）
	4月	新過疎法に基づき南郷地域が「一部過疎」に認定
	5月	でんえん土田畑村がリニューアルオープン
	9月	町内産小麦「夏黄金」使用の学校給食用パンを供給開始
	9月	SL・DL東北DC陸羽東線号が運行
	10月	国内最大級のレタス工場「美里グリーンベース」竣工
令和4年	3月	2022年福島県沖地震が発生（町内震度6弱）
	4月	南郷放課後児童クラブ施設を新築
	4月	地域おこし協力隊員が着任
	7月	令和4年7月豪雨災害が発生

「でんえん土田畑村」がリニューアルオープン

「大崎耕土」が世界農業遺産に認定

SL・DL東北DC陸羽東線号が運行

美里町 総合計画・総合戦略

教育・文化 1　保健・医療・福祉 2　産業振興 3　コミュニティ 4　行財政 5

美里町では、まちづくりの基本指針となる美里町総合計画・美里町総合戦略を平成28年3月に策定しています。その中で令和22年度を将来目標に、目指すべき将来像と目標人口を設定しています。また、将来目標の達成に向け、「教育・文化」、「保健・医療・福祉」、「産業振興」、「コミュニティ」、「行財政」の5つの分野から取り組むこととしています。現在は、令和3年度から令和7年度までの第2次の計画期間に入っています。

今後も、人の和を大切に、住民と行政がともに力を出し、魅力ある地域づくりに努め、一人一人が輝き、「幸せ」と「豊かさ」を実感できるまちづくりを推進します。

1 教育・文化

生涯をとおして学び楽しむまちづくり

【教育の振興】

学校教育や生涯学習の充実に取り組むとともに、小中学生における基礎学力の向上に対する取組や様々な分野で活躍できる多様な人材の育成を進めます。また、生涯学習の充実に取り組みます。

【教育環境の整備】

学びのセーフティネットの構築や家庭の経済的支援に対する取組を進めます。また、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制等の整備、ＩＣＴ利活用のための基盤整備、安全、安心で質の高い学校施設等の整備、児童生徒等の安全対策など、教育を振興するための基盤整備に取り組みます。

教育の振興

教育環境の整備（新中学校完成イメージ）

2 保健・医療・福祉

健やかで安心なまちづくり

【保健・医療の充実】

住民一人一人が生涯をとおして健康で過ごせるよう取り組むとともに、妊娠期からの切れ目のない保健対策を進めます。また、町立南郷病院を本町の地域医療の拠点としつつ、近隣市町・広域的医療圏との連携により、住民が適切な医療を受けることができる体制を確保します。

【福祉の充実】

今後の高齢社会に対し、地域における人と人のつながりを大切にできる仕組みづくりを構築するとともに、福祉サービスの一層の利用推進を図り、障がい者が自立できる社会、暮らしやすいまちづくりを進めます。

【子育て支援の充実】

保育及び幼児教育の環境整備を総合的に進めるとともに、保護者が子育てをしながら安心して働けるよう、出産から子育てまでの切れ目のない支援を行います。

保健・医療の充実

福祉の充実

子育て支援の充実

3 産業振興

力強い産業がいきづくまちづくり

【農業の振興】

農業生産における最新機械・設備や技術導入を推進するほか、農地の生産性を高めるため、水田での畑作転換や二毛作に対する取組を推進します。また、作業の分散化、標準化を図るなど、経営体質の強化を図るとともに、関係機関と連携し、産地化や法人化を推進します。さらには、人材育成やネットワーク形成を通じて、農業の魅力向上を図り、担い手の確保に取り組みます。

【商工業・観光物産等の振興】

関係機関と連携し、町内のあらゆる「しごと」を支援するとともに、商品開発や販路開拓を推進します。また、地域資源をいかした観光施策に取り組みます。

美里グリーンベース

キッチンカーフェスタ

4 コミュニティ
くらしやすさを実感できるまちづくり

【生活安全の確保】
国や県とともに、迅速かつ実効性のある避難行動等が実施できるよう努めます。また、地域防災力を強化し、災害時にその機能が十分に発揮できる体制づくりに努めるとともに、平時において、住民が犯罪や事件に巻き込まれることの無いよう、安全、安心な暮らしを守ります。

【生活環境の保全】
幅広い年代の方が利用しやすい公園の整備を行うとともに、道路整備、排水対策、上下水道整備、公共交通網の確立といった住環境の整備に努めます。また、家庭ごみや温室効果ガスの排出抑制、住民の環境美化運動の促進、自然環境に配慮した取組を進めるとともに、若い世代の転出抑制と新たな定住が生まれるまちづくりを行います。

【住民活動の促進】
地域内外の交流を推進し、住民や各団体の活動の活性化を促進し、活気と魅力のあるまちづくりを推進します。

【平和行政の推進】
一人一人が国際社会に目を向けて、日々の暮らしの中で平和を尊び、戦争のない平和な社会の実現に努めます。

地域防災

環境美化

住民活動の促進

平和学習

5 行財政
自立をめざすまちづくり

【健全な行財政運営】
住民サービスの向上を図るため、効率的な組織運営と職員の資質向上、分かりやすい行政情報の提供に努めます。また、歳入確保と歳出抑制に取り組むとともに、公共施設マネジメント、民間活力の導入を推進し、将来を見据えた持続可能な自治体経営を目指します。

本庁舎

町民等の窓口対応

職員研修

町民の声を町政へ

議会

美里町議会は、一般選挙で選ばれた13人の議員で構成し、任期は4年間となります。議会の会期は、4月1日から翌年3月31日までの通年とし、6月、9月、12月、3月の定期的に開催する会議のほか、必要に応じて会議を開催しています。また、本会議から付託された議案や請願などの審査などを行う常任委員会（総務、産業、建設常任委員会及び教育、民生常任委員会）や議会の運営方法などを専門的に協議していく議会運営委員会を設置するほか、必要に応じて特定の問題を調査、審査する特別委員会を設置しています。

議会では、町の業務の進め方や方向性などの決定を行ったり、町の仕事が正しく適切に行われているか監視したりすることで、町民の意思が町政に反映されるよう努めています。

行政

美里町では、地方分権改革が進められる中、住民と行政の協働の下、組織内の連携強化を図り、民間活力を活用しながら、効率的かつ効果的な行政運営に努めています。また、教育長と4人の委員で構成される美里町教育委員会では、子どもたちが、人との支え合いを大切に、自ら学び、たくましく柔軟に生き抜く力をはぐくむことを基本理念に、学校教育、社会教育、文化（文化財保護関係）、スポーツ（学校の体育関係）など教育行政の推進に努めています。

美里町民憲章

江合・鳴瀬の清流と豊かな緑に恵まれた美里町に生きるわたくしたちは、輝く未来に向かってみんなが平和で心豊かに暮らせるよう、この憲章を定めます。

一．夢と希望を持ち　心身ともに
　健やかに働く町民になります

一．きまりを守り　互いに尊重し合い
　助け合う町民になります

一．自然に親しみ　美しい環境を
　大切にする町民になります

一．先人をうやまい　共に学び合い
　文化を育てる町民になります

一．ふるさとを愛するとともに
　世界に目を向ける町民になります

（平成18年7月29日制定）

町 章

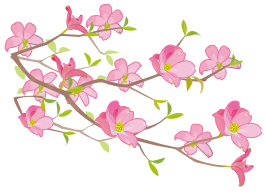
美里町の「み」をモチーフに、さわやかに風が吹く、自然いっぱいの大地をイメージし、住民の団結、自然と住民の調和を表現しています。先人から受け継ぐ歴史と文化を宝に、ともに躍進していく願いが込められています。

（平成 18 年 7 月 29 日制定）

町花：ばら（薔薇）

「ばら」は、古代から繁栄と愛の象徴とされています。また、美里町民にもっとも親しまれ、愛されている花です。幾多の花びらの重なるその花の姿は、町民の連帯と未来に向かって潤いのある町づくりを進める美里町にふさわしい花です。

（平成 18 年 7 月 29 日制定）



町木：はなみずき（花水木）

「はなみずき」は、春には花が咲き、また、秋には赤い実をつけ、紅葉も見事です。美しい環境を大切にし、景観を保全する美里町にふさわしい木です。

（平成 18 年 7 月 29 日制定）

美里町町勢要覧

発行：美里町

発行年月：令和 5 年 3 月

住所：〒987-8602　宮城県遠田郡美里町北浦字駒米 13 番地
電話番号：0229-33-2111（代）／ＦＡＸ：0229-33-2402
HP：www.town.misato.miyagi.jp

制作：㈱鈴木印刷所

美里町公式
LINEアカウント

美里町観光
プロモーション